



Kainan East Rotary

DISTRICT 264

CLUB WEEKLY BULLETIN

事務所 海南市日方1294 海南商工会議所内 TEL (07348) 3-0800

例会日 毎週月曜日 12時30分 ♣才1例会のみ 18時30分 於海南商工会議所 4F

会長 土岐甚五郎 幹事 中尾公彦 会報委員 広野・谷口・大川・中道・片山

才423回 例会 昭和59年3月12日(月) 午後12時30分 於海南商工会議所

1. 開 会 点 鐘 土岐甚五郎会長
2. ロータリーソング 「我等の生業」
3. ビジター紹介 田中明治様(有田R.C.) 丸谷順正様(有田南R.C.)
森 泰皓様(海南R.C.)
4. 出席率の報告 会員総数57名 出席者数47名 出席率 82.47%
前回修正出席率 87.72%
5. 会長スピーチ

丸谷さん、田中さん、森さん、ようこそおいで下さいました。

暖かい日が続きまして、春の到来を思わせる様に成りました。今日は、久々に上田さんの顔も見えまして、皆さん大勢ご出席の様です。先週、第1例会は晩で御座居まして、宮田さんには一献を傾けながら例会の時間を、過ごして頂いたと言う事で御座居ます。

春ともなりますと、おめでたい事が続きます。柳川さんの御長男が、3月25日めでたく結婚式を挙げられると言う事です。それから、皆さんの御子弟の中には御入学、御進学、御卒業、御就職、あるいはその他のおめでたい事が、春には続きますので、ニコニコで、自主申告でよろしくお願い致します。

今日は、2月6日に「ファイアースайд・ミーティング」を、5組に別れて行いましたので、後ほど各班長さんよろしく御報告の程をお願い致します。以上です。

6. 幹事報告

- 例会時間場所 臨時変更のお知らせ
和歌山北R.C. 3/19(月) → 3/22(木) P.M. 6:00 (バンビー)
和歌山東南R.C. 3/31(土) → 3/31日(土) P.M. 6:00
(和歌山市民会館)
- 認証状伝達式の御案内
礼文R.C. 5/19(土) 道立礼文高校体育館
利尻R.C. } 5/20(日) 利尻島開発総合センター
利尻島R.C. }
- 創立で挨拶
高師浜R.C. 毎週木曜日 12:30~1:30 新東洋

- 理事会のお知らせ

3/14 (水) 7:00 於木村屋

7. 委員会報告 (親睦委員会)

- 4/7 (土) 年次大会後、4時30分より駅前「富士ホテル7階」で、年次大会で会長が増強達成の表彰をして頂きますのと、三木君の入会をお祝いして祝賀会を行います。橋本さんに、出席の程をお伝え下さい。
(一人¥6,000-程)
- 5/25 (金) 4時30分より、京都北R.C. と野球大会を行います。
ユニホームを検討中です。(¥7,000-程)

8. ファイアースイド ミーティングの発表

◎1組リーダー 角谷勝司君

1班11名は、出席7名で真剣に討論致しまして、色々まとめまして提案させていただきます。

- (1) 90%以上を目標にする。
- (1) メーキャップ制度をフルに活用。
- (1) 出席率60%以下の会員を集めて、討議してもらう。
3ヶ月に1回ぐらい。60%以下の出席委員が、60%以下の方に集まって頂いて、問題等あるいは出席指導等やったらどうか。
- (1) 欠席者には、ニコニコを入れて貰ってメーキャップ扱いにする。
(ユニークな発想として提案します)
- (1) 連続3回欠席すれば、出席委員会より電話を入れるか、近所の会員が訪問する。
- (1) ゲストの卓話は、ハード・ソフトをおり混ぜて、プログラムを組んで頂いて行う。
- (1) ゴルフもメーキャップにして欲しい(クラブのゴルフ大会に出席した場合)

◎2組リーダー 岸義朗君

たいへん充実した報告の後で、しゃべりにくいのですが……。ファイアースイド・ミーティングにつきましては、此の前のガバナーの公式訪問の時「格式ばって、しかつめらしい事をやらずとも、ワイワイ・ガヤガヤ、やっている所に意味があるのではないか」と言う事を聞いた訳で御座居ますが、とわ言うものの、ファイアースイド・ミーティングと言うのは、どう言うもんであるのか？ここから2組の方は、初まった訳です。

私も、ロータリーの知識が浅いのですが、和歌山R.C.の「R.C.新会員の為に、これだけは知っておこう」と言う雑誌には、充実した説明がなされています。此の前、会長研修に行きました所、来年度の主要重点事項として、「ロータリー会員の知識の向上」が上げられておりました。ロータリーの知識につき非常に詳しい方も居られますので、新入会員の方々に積極的に、ロータリー組織について御指導して頂き、ロータリーの奉仕活動に邁進する事が、ロータリーの理想でないかと思えます。

◎3組リーダー 向井久佳君

熱心な方ばかりで、つかみかからんばかりの話し合いをした結果、この熱心な方々の名前を申し上げればよいのですが、省略します。大体の7名だったと思えます。

- (1) 第一例会の夜を、たまに土曜日の夜にしてはどうか。
会員の年齢差が出来、若い方は、第一例会に出席しにくい場合があるのではないか。(出席率がよくなるのではないか)

- (1) 新入会員との親睦を密にするには、夜間例会を本日の様な会にしてはどうか
- (1) 夜間例会を地理的に考えて、場所を変えてはどうか。
- (1) 例会を連続的に休んだ場合、会長、又は監事等が、会員宅に出向いて出席を促す。

◎4組リーダー 坂上充作君

- 一組の方から御発言頂きましたが、同じ様な課題を考えて居る様で御座居ます。
- (1) 炉辺会議に出席した場合、メイキャップ1回つけてはどうか。
 - (1) クラブ主催のゴルフコンペ（には、是非御参加をして頂きたい）に参加された方に、メイキャップ1回つけてはどうか。
 - (1) 夜間例会が、毎月2回位あってもいいのではないかと。又開会を7時にしてはどうか。
 - (1) 3回位連続して欠席の方には、御推薦の会員から声をかけるか、誘うなりして、出席を促して頂きたい。
 - (1) その他、海南東クラブの例会日が月曜日に決まった由来、海南東クラブの活動実践等、新入会員さんを交えて話が出ました。炉辺会合は、堅苦しい会合でなく親睦を深め、くつろいだムードの中でクラブの事、ロータリーの諸問題をさかんに杯を酌み交すのが、炉辺会合本来の姿だと思います。今年は、異状の寒さで情報の委員長の私も気を使いました。次回は、地域別でやりたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。以上で報告を終わらせて頂きます。

◎5組リーダー 山野明君

リーダーの山野（裕正）さんが、欠席され同じ名前と言う事で私が急遽やる事に成りました。今発表された4名の方と、同じ様な意見が出まして、付け加えて言う事はないのですが、唯新入会員が年次大会地区大会に出席義務者となるのはなぜか、と言う意見が出まして、此は新入会員さんが、ロータリーを1日も早く理解して頂く為、出席義務者となっているのではないかと。対立意見に対して、激論が行なわれました。又、出席に付きまして、今日休んでられる方々で、後日出席に付いて話し合ってもらえばいいのではないかと、と言う決論で締め括りました。

ニコニコ・米山・BOX

先月分の残りのお祝 奥様誕生日おめでとうございます

上田勝子様 2/22（御無沙汰いたしまして、今後とも宜しく）

会員結婚記念日おめでとうございます 隅田卓爾君 3/26

丸畑 邦夫君 今日は、卒業式で最後の挨拶をさせて頂きましたのと同時に、私の二番目で義務教育最後の娘が、無事卒業しました。

倉橋 利幸君 きのう医師会のゴルフコンペで優勝しました。

新垣 勝君 きのう倉橋先生優勝された馬、間違っかけてまして頂きました。

岡田 雅晶君 入れるつもりはなかったのですが、催促されましたので。

角谷 勝司君 息子とヨーロッパ旅行に行ってきた。末っ子が、無事義務教育をおえました。

宮田敬之佑君 海南高校60周年記念の名簿が、完成致しました。お買い漏れの方は、学校へ置いて居ります。（¥3,500-）

三木 寛昭君 姪が、今日荷入れをしました。

林 孝次郎君 今年よくさぼったので、入れておきます。

次回例会案内 昭和59年3月19日（月）PM12:30 於 海南商工会議所

新入会員卓話 三木君

「健康法について」平尾君

今まで行ってきた事業としては、地域の開発を目的とした、道路・下水道・住宅の整備、等の物を作る同和対策が中心となってきた。物を作る同和対策、いわゆる地域開発は、現在和歌山県内で約90%の完成をみている。けれども、物の作る同和対策と、教育あるいは、産業・職業を高めていくためのものとは非常に異なります。そして、人づくりというものは、非常に困難な問題であります。これからの解決すべき問題点は、その人づくりであり、その人づくりを中心とした教育、あるいは、経営能力のある中小零細企業の進行というものに、力を傾けなければならないということです。

また、能力のある人材を作り出しても、企業による同和地区に対する偏見などの心理差別がある限り、その能力は生かされないのです。これが昭和55～56年頃から問題になってきた。『部落地名総鑑』であります。これは、大企業中小企業に侵透し、全国の地区を企業側に知らせ、地区民を企業から閉め出してしまうという現象であります。こういうことでは、差別改善は行われません。やはり、企業が人材を求める時、本人の能力や適性によって採用するのが当然なのです。だから、現在、企業のトップレベルの方々に、我々の事業を理解していただくことが、問題の解決になるのではないかと考えているのであります。県と同和地区と職業安定課の中に、同和問題を正しく理解していただく計画をたてているわけでございます。すでに、企業の中に、30名の同和问题研究推進委員という方々をおいていただき、その方々を中心に、企業の中に正しい同和問題を理解し、認識を深めていただいております。そして、正しい従業員の選考作業をしていただいております。正しい従業員の選考とは、先述にもありますように、本人の適性能力のほかにはありません。たとえば、「どこで居住しているのか」「両親は何をしているのか」「資産はどれくらいあるのか」「両親はあるのか」とかの問題は、本人とは別問題なのである。

最近では、履歴書にある本籍地は、県だけしか書いていません。また、家族に関しても、両親・兄弟の職業は記入しないことになっています。また、学生時代のクラブ活動も記入しません。これは、思想・信条の自由を守るためのものである。これからの企業は、人材の登用問題について、日本国憲法で保障されている「人種・信条・性別・家柄・門地等によって社会的、政治的、経済的に差別を受けない」ということを、実現しなくてはならない。つまり憲法が、実現されることが、行政を動かす中心となっているのである。

同和问题の正しい理解については、最近、やはり企業が目立っています。おとしの商法の改正によって、いろんな総会屋等が閉め出されました。その人々が衣替えをして、同和運動団体をよそおって企業へつけ込んできます。企業が同和問題を正しく理解していない点につけこむ風潮も出てきているのです。企業を防衛していく上で、この問題を正しく理解することは大切なことです。運動とはいえども、正しくない運動もたくさんあります。その中で、正しいものを確かに認識して行くということは、企業のトップである皆様方の正しい理解が必要となってきますのであります。県民の皆様が正しい理解をしていただき、住みよい和歌山を作っていくことが私達の使命なのです。企業が正しい理解を持ち、無理解によるスキを失くして行くためにも、これから先にあると思われる、こういった研修に、ご参加いただきたいと思います。以上